

- 目次
- 3…会員名簿発行
 - 5…母校の近況
 - 9…63年度卒業生の進路
 - 12…クラブ活動
 - 18…紫電会発足する
 - 20…会員日より
 - 22…会費・寄附一覧

白水会報

発行所

大阪市立泉尾工業高等学校内

大阪 白水会

〒551

大阪市大正区泉尾5-16-7

T E L 大阪 552-2221代

振替 大阪 4-8 2 9 6 6

発行人 上野 勇

編集責任者 六辻 丈夫



あいさつする前田校長



校訓を身近に「校舎改築記念碑」建立



上野会長の贈呈あいさつ



村上三島氏

上野会長・前田校長・
吉川生徒会長により除幕

より強いきずなを

大阪白水会会長 上野 勇 (M25)

青葉目にしみる今日今頃の会員の皆様、益々御盛栄の事と存じます。平素は、白水会に多大な御力添を頂き有難うございます。

昨年は、本館・体育館竣工記念として、村上三島先生の絶大なる御厚情、又会員の皆様の御協力に依り、立派な記念碑を建立出来ました事は本当に嬉しく思います。これも偏に皆様の御支援の賜物と深く感謝し、改めて厚く御礼申し上げます。

現在は物が有り余る時代の頂点の様な気がします。これからは物質社会から精神社会へと移行しつつある様に思います。その意味でも「誠実、創意」と云う言葉は、本来誰でも持ち合わせている、豊かな人間性を発揮させる有意義な教えとして実感する次第です。昭和から、平成に移行する時期にあいまって何か意義深いものを感じます。

本年度も又新しく大勢の方が本会に入会して下さいました。希望に夢ふくらませて実社会に入られた多く

の会員の方々、夢と現実の狭間で色々と苦勞する事も有ると思います。そう云う時こそその白水会を存分に利用して頂きたいと思ひます。

先輩は後輩の相談相手となり、後輩は先輩の博識を吸収し、又同輩同志の話し合い助け合い等、縦、横、の太い絆で結ばれる白水会であって欲しいと思ひます。総会には一人でも多く参加して頂き、伝統ある白水会が、今後益々発展していく事を心から念じてやみません。

この度新しい会員名簿が発行されます。府下を始め、全国に居住されている方々の連絡、確認等、理事・常任理事を始め各位に大変な御苦勞をおかけしております。この機に際し一人でも多くの会員の方々にお求め頂き、気軽に連絡を取り合って頂きたいと思ひます。

会員の皆様益々身心を調和され、各所で存分の御活躍をされる事を念じ乍ら、御挨拶とさせて頂きます。

母校に

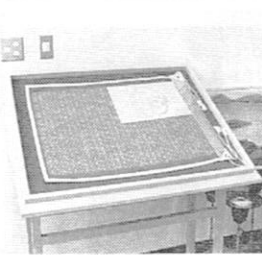
「校舎改築記念碑」を建立

昨年10月22日、母校本館正面玄関右側に、「新本館・体育館竣工記念碑」を建立し、その除幕式を挙行いたしました。

この記念碑は、卒業生諸氏から寄せられました「新本館・体育館竣工記念募金」をもとに建立されたものです。

碑面には、昭和6年応用化学科卒業で芸術院会員である村上三島氏の揮毫になる校訓「誠実」「創意」を刻んであります。

除幕式では、記念碑並びに校旗収納ケースを上野会長より「校訓」額装が村上三島氏よりそれぞれ学校に



た。この後、前田昌男校長、吉川直樹生徒会長と上野会長の三代表が、参列者の見守る中で紅白のテープを引いて、記念碑が姿を表わしました。

●平成元年度役員

会長 上野 勇氏(M25)

副会長 高橋誠一郎氏(S15)

北嶋 豊氏(D20)

大谷 正男氏(C18)

福村吉児氏(A28)

角岡貞治氏(M33)

河端 保氏(E41)

田中豊三氏(S38)

監査 山畑阿威氏(A34)

田中豊三氏(S38)

平成元年度事業計画

会長・副会長(6/9)

理事会(6/9) 東京支部

総会(5/26) 卒業生を囲

む会(6/14・20・21・

22) 会報発行(7月5日)

総会(7/21日(金))

常任理事会(随時)

いました。

当日は11時より、講堂において村上三島氏の記念講演が行なわれました。

新本館・体育館竣工記念募金
決算報告書

収入総額	2,977,106円
支出総額	2,530,620円
差引額	446,486円

収入の部

項目	金額
60年度募金	1,430,711円
61年度募金	1,335,515円
除幕式祝儀	35,000円
除幕式昼食会費	86,000円
利	89,880円
合計	2,977,106円

支出の部

項目	金額
記念碑製作費	1,320,000円
記念誌発行費	454,430円
竣工記念航空写真代	130,000円
校旗修理費	23,400円
校旗収納ケース製作費	240,000円
旧職員名簿発行負担金	100,000円
竣工記念式典	90,000円
東京支部招待費	15,000円
除幕式記録写真代	105,950円
除幕式昼食会費	13,280円
通信費	18,560円
合計	2,530,620円

差引残額は、積立金会計に繰入れる。

昭和63年度 大阪白水会 決算報告
＜一般会計＞

収入総額	2,796,270円
支出総額	2,591,140円
差引額	205,130円

収入の部

項目	予算額	決算額
前年度繰越金	351,266	351,266
前年度繰入金	900,000	971,242
前年度繰入金	900,000	1,114,160
前年度繰入金	10,000	6,602
前年度繰入金	300,000	353,000
前年度繰入金	0	0
合計	2,461,266	2,796,270

支出の部

項目	予算額	決算額
会報作成費	1,500,000	1,561,590
会報作成費	250,000	333,440
新入会員歓迎費	160,000	149,100
退職記念品	70,000	84,000
通事信託費	120,000	184,030
通事信託費	10,000	900
通事信託費	31,000	31,000
教育後援会分担金	100,000	100,000
教育後援会分担金	150,000	128,240
教育後援会分担金	30,000	8,840
教育後援会分担金	40,266	10,000
合計	2,461,266	2,591,140

積立金会計

昭和63年度 決算報告

収入総額	3,335,390円
支出総額	0円
差引額	3,335,390円

収入の部

項目	金額
前年度繰越金	3,324,221円
前年度繰入金	11,169円
合計	3,335,390円

支出の部

項目	金額
一般会計へ繰入れ	0円
監査の結果、正確であることを認めます。	
平成元年5月13日	
会計監査 平岡利隆 仰	
平岡利隆 仰	

平成元年度 積立金会計 予算案

収入総額	3,781,876円
支出総額	0円
差引額	3,781,876円

収入の部

項目	金額
前年度繰越金	3,335,390円
新本館・体育館竣工記念募金残金	446,486円
合計	3,781,876円

支出の部

項目	金額
一般会計へ繰入れ	0円

平成元年度

大阪白水会予算案

＜一般会計＞

収入総額	2,790,130円
支出総額	2,790,130円
差引額	0円

収入の部

項目	予算額
前年度繰越金	205,130円
前年度繰入金	1,000,000
前年度繰入金	1,150,000
前年度繰入金	5,000
前年度繰入金	430,000
合計	2,790,130円

支出の部

項目	金額
会報作成費	1,800,000円
会報作成費	300,000
新入会員歓迎費	150,000
退職記念品	110,000
通事信託費	160,000
通事信託費	10,000
通事信託費	10,000
教育後援会分担金	100,000
教育後援会分担金	130,000
教育後援会分担金	10,000
教育後援会分担金	10,130
合計	2,790,130円

会員名簿発行にご協力を

18年ぶりに会員名簿の発行を行なうことが、昨年の理事会・総会で決定されました。

それを受けまして常任理事会内に会員名簿発行委員会を設置し、準備作業にあたってまいりました。

今回発行する名簿は、前号でも発表しましたように希望者に有料配布することが前提になっております。(送料を含め一部四千円)

名簿はB5版の大きさで全会員及び全旧・現職員の氏名・住所・電話番号・勤務先と母校の概況を収録する計画でおります。

発行目標は来年五月末、四月初旬には、学校で把握している名簿をもとに、

各理事宛に、調査書を送らせていただき、クラスごとの現況の把握に努めました。

その結果、約46%の理事より回答をいただきました。クラス全員の自宅や勤務先に何度も電話や手紙を出して確認作業にあたっていたいたいた理事が多数おられたことを知り、担当者一同感激いたしております。ご協力ありがとうございました。

現在、データをコンピュータに入力しております。入力後(この会報到着とあい前後して)居所の判名している会員各位宛に、名簿原稿の確認と名簿購入・賛助広告の申込書(調査カード)が送られることになっ

ております。調査カードは、必ずご返送下さい(送料無料)。

返送されました調査カードをもとに、原簿を再度整理し、不明者名簿を作成し改めて居所不明者の調査を実施いたします。

発行に必要な経費は、名簿代金と賛助広告料でもってまかなう予定でおります。

会員諸氏におかれましては、次の点での絶大なるご協力をお願いいたします。

① 名簿購入の申し込みをして下さい。

◎賛助広告

会員並びに会員勤務先等の広告

B5版1頁	5万円
1/2頁	3万円
特別ページ(見返し)	
1頁	10万円
1/2頁	5万円

◎協賛金

名簿発行にご協賛いただける個人(会員)。ご協賛いただいた方の氏名・卒科年を一括して掲載いたします。1口 1万円(何口でも可)

※賛助広告・協賛金にご応募いただいた方には、名簿を一部進呈。

※ご応募は、別途お送りします調査カードにご記入の上、ご返送下さい。広告原稿・入金方法等については、改めてご案内申し上げます。

ております。

調査カードは、必ずご返送下さい(送料無料)。

返送されました調査カードをもとに、原簿を再度整理し、不明者名簿を作成し改めて居所不明者の調査を実施いたします。

発行に必要な経費は、名簿代金と賛助広告料でもってまかなう予定でおります。

会員諸氏におかれましては、次の点での絶大なるご協力をお願いいたします。

① 名簿購入の申し込みをして下さい。

② 賛助広告、協賛金の募集にご応募下さい。

③ 賛助広告、協賛金の募集にご応募下さい。

④ 賛助広告、協賛金の募集にご応募下さい。

大きく寄与することが予想されます。

会員諸氏の絶大なるご援により、名簿発行事業が完遂出来ることを心よりお願いいたしております。

ご注意 ダイレクトメール等の発送を目的とした名簿の購入は、発行の趣旨にそいまいので、ご購入をおことわりいたします。

◎63年度事業報告

① 会報の発行 7/2

② 総会の開催

・東京支部総会 5/26

・本部総会 7/15

・紫電会設立総会 7/23

③ 新本館・体育館竣工記念事業

・記念碑の建立と除幕式の開催 10/22

・校旗収納ケースの新設(いずれも詳細は別記)

④ 会員名簿発行事業

名簿発行作業にとりかかる。(詳細は別記)

⑤ 母校後援事業

・卒業生を囲む会

・母校教育後援会に対する財政援助

⑥ 諸会議

・会長・副会長会 6/7

・理事会 6/7

・常任理事会(ひんぱんに開催)

・校の後輩の就職活動等にも

は、会員相互の連絡・親睦を深めるだけではないに、母

校の後輩の就職活動等にも

は、会員相互の連絡・親睦を深めるだけではないに、母

繊維・紙・フィルム・印刷・電線
捲出・捲取・テンションコントローラー
各種測定器

EIKO

エイコー測器株式会社

代表取締役 中川俊和 (M26卒)

本社 大阪市西区南堀江1丁目18番27号
電話 (06) 533-1801 代表
FAX (06) 538-3278
松本工場 松本市大字笹賀5-6-5 番地
電話 (0263) 25-7155 番
東京営業所 東京都台東区台東1丁目6番6号(コモタビル506)
電話 (03) 835-3026 ~ 7 番

染料・工業薬品・染色助剤・樹脂

IC 泉 化成品株式会社

代表取締役 瀧本廣之 (D32卒)

〒516 大阪市東住吉区東田道2-15-2

電話 (06) 607-3106 代

Fax 723-000 607-8024

荒川博行 (D46卒)

太田妙子 (D54卒)

退職にあたって

「心から感謝を」

前教頭 岡内 繁



緑陰がしたわしい昨今、大阪白水会会員の皆様方におかれましてはご健勝にて

ご活躍のこととお慶び申し上げます。さて、私こと、このたび大阪市立生野第二工業高等学校校長を命ぜられ、過日着任いたしました。大阪市立泉尾工業高等学校には昭和六十年四月より平成元年三月末日までの四年間教頭として勤務させていただきました。

着任のごあいさつ

教頭 田中 孝治



れるまで、PTA、教育後援会、大阪白水会のみならず、大阪の先生方にご不便や迷惑をおかけするかもしれません。

白水会の皆さま方には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。私こと、このたび岡内繁先生の後任として、平成元年4月4日付をもちまして、本校電気科教諭から着任いたしました。何分にも新任であり、観念や立場の違いに慣

日々の反省のうえに立て、先輩諸氏の築きあげられました本校の伝統にもとづいて教育を推進していきたいと思っております。その際には全教職員の協力を得て努めていきたいと思っております。よろしくご支援のほどをお願いいたします。私は、今年で教職（が）通算26年になります。新任

したが、その間白水会の皆様には公私にわたり温かい御厚情を賜りましたことを心から厚くお礼申し上げます。

願いますと私の勤めさせていたいただいた四年間は泉尾工業高校にとっては大きな節目にあたる時期であったと思います。そのような時期に勤務できたことは私の生涯にとって良い思い出となることと思います。末筆になりましたが白水会のみならずのご発展を念じております。

から7年間は此花工業高校、昭和45年から63年までの18年間は生野工業高校で、お世話になりました。本校では、2年目になります。

本校は大正11年の創立以来、平成4年で70周年を迎えます。歴史と共に一万有余名の卒業生を各地・各界に送り出しております。

これも歴代の校長先生を中心に、保護者の方々のご支援、同窓生の皆様の母校愛、教職員の先生方の努力とによってなしたげられたものであります。

ところで、近年における日本の科学技術の発達と経済の発展に基づく、産業構造の変化は新しい教育の課題をもたらしております。

さらに、都市化、情報化の進展は、地域や家庭に経済的な豊かさと同時に精神的な不安をもたらしている現状もあります。このような時代に主体的に対応する能力をもった人間の育成を目標とすればなりません。

そのためには、個性的で多様性のある人材で、困難に立ち向かう強い意志をもった人間、問題解決に積極的に挑む知的探求心をもった人間、主体的に目標を設定し、必要な知識・情報を選択活用する能力をもった人間、自己を抑制し他者を尊重するとともに、良好な人間関係を創造していくことの可能な人間の育成を期さなければなりません。

このような目標にむけて、校風と伝統を基礎として、「誠実・創意」の意図する精神をなお一層飛躍させた

いと考えております。もとより、浅学非才の身で、この職責の重大さを身にしみて感じているところでありま

す。ではございますが、誠心誠意、努力を傾けます。どうぞよろしく願いいたします。

文化 祭

11月11・12日に開催、ご参観下さい。



株式会社 水原フォトグラフ

〒543 大阪市天王寺区大道4丁目1番5号
TEL (06) 771-2068(代)
771-2025



学校卒業
アルバム製作

鷺 州

やまがき

木内 政雄 (C33卒)

大阪市福島区鷺洲2丁目15-33

TEL. 458-5819

長い間、ありがとうございまー」

泉工のために長年ご尽力

いただきました岡内繁教頭はしめ次の先生方が本年で退職・ご転任されました。

長い間ありがとうございました。先生方の今後の御健康と御活躍をお祈りして感謝の意いたします。

○教頭

岡内 繁先生

昭和60年4月より本校教頭として、校務全般にわたってご尽力いただいておりますが、このたび生野第二工業高校長としてご栄転されました。

松沢前校長と共に本館・体育館・クラブハウスの建設に力を注がれました。常にソフトムードで人に接しられ、問題の円満な解決にあたってられました。

○工業化学科

三羽 昭典先生

昭和32年より33年間本校に勤務され、その間、工業化学科、生活指導課、進路指導課に所属され、生徒の指導にあたられました。

厳しい中にも、心温かい思いやりのある教育姿勢は、我々後輩に大いに勉強

になりました。

卒業生達は口をそろえて厳しい指導が会社に入ってから役に立ったと感謝しております。

先生は園芸にも大変興味を持たれ、家庭菜園や花づくりは玄人はだといったところですが、今後はその趣味を生かし余生を過ごしたいと話しております。

○数学科

辻 光典先生

昭和55年より9年間本校で勤務され、生活指導課長、図書課、教務課、PTA書記、同和教育主担として活躍されました。

また、数学教育において、学力の多様な生徒の実態にあわせて、教材を工夫、研究され、一人ひとりの生徒が数学に興味を持つよう努力されました。

現在、枚方市にありますが大阪府立高校で教鞭を執っております。

○図書館

南 敦子先生

泉工のオアシスにも似た南先生は、司書として三十六年間お勤めになり、昨年

11月30日付でご退職になりました。

その間、図書館の整備・運営一筋にご尽力なされ、今日の立派な図書館活動を築かれました。また、クラブ顧問(茶道・華道)として女子生徒の情操教育にも情熱を傾けられました。

○庶務課

浜村 恵庸先生

昭和62年8月に本校事務長として赴任されました。

先生は一年八カ月の短期間ではありましたが、これまでの養護学校、東商、生野二工での豊富な経験を生かし、泉工の教育条件整備にリーダーシップを発揮されました。

本年三月末日をもって退職され悠々自適の生活を送られているとのこと。

○電気科

中坪 籌満先生

昭和39年4月に本校に赴任され、以来二十五間にわたって勤務されました。

その間、六回の担任や卓球、バドミントンの顧問として精力的に生徒指導にあたられました。

また、持前のバイタリティーで、電気工事士、電検三種等のライセンス取得のた

めにご尽力くださり、生徒は勿論のこと、職員にも大きな影響を与えてこられました。

この度、都島工業高等学校へご転任になりました。

○保健体育科

田口 晶啓先生

昭和42年より二十三年間勤務され、その間健康教育課長・担任・サッカー部の顧問などで精力的な指導をされてきました。

特に健康教育課長として秀れた想像力とアイディアで全校生徒全般の指導にあたり、また四十年代後半にはサッカー部の全盛期をつくられました。

この度、東淀工業高等学校へご転任になりました。

○社会科

長尾 哲先生

先生は、期限満了で本校を、ご退職になりました。

長尾先生は、生徒に対して、短期的な見方ではなく長い眼でみるようにという指導をされました。また、生徒が「できません」というのを、やんわりたしなめる先生でもありました。なぜできないかを、生徒自身に考えるようしむけられたわけです。

○工業化学科

西井 基夫先生

昨年本校に着任されましたが、此度、此花工業高校に転任されました。

先生は大変明るく気さくな人柄で生徒に人気もありました。よく勉強もされ、本校バイオテクノロジーの導入にも一役かかって下さいました。

○家庭科

比楽モト子先生

先生は本年3月末日をもってご退職になりました。

比楽先生は、「私が教えた繊維工業科と色染工業科の女生徒は、少人数でしたが、まるで妹がいついふきたような感じでした」といってられました。

○色染工業科

三村とみ子先生

昭和62年4月よりご勤務いただいておりますが、今度西野金陵陶染科技術試験室へご転任されました。

またバスケットボール部ボーリング部の顧問としても、精力的に後輩の指導にあたり、姉のようにしたわれておりました。

○保健体育科

和泉 武志先生

昭和63年度、新卒で本校に赴任されましたが、本年度生野工に転任されました。一年間でしたが、行動力のある明るい性格で体当たりで生徒の指導にあたりました。

特にクラブ活動においては専門の水泳部を担当し、毎日熱心に指導され水泳部の向上に多大な貢献をされました。

叙 勲

村上三島氏 (A6)

昨春秋の叙勲において、勲三等旭日中綬章を受章されました。

日本芸術院会員として、書の分野における長年の功労を顕彰されました。

おめでとうございます。なお松尾芭蕉の「奥のほそみち」紀行三百年を記念してシリーズで発行されている切手に、村上三島氏の書が採用されております。(第七・九集で計三種)。

繊維工業科だより

平素は、母校のため、御援助、御協力頂き有難うございます。

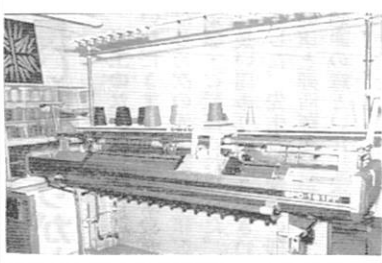
現在1・2・3年生とも男女比は、ほぼ半々です。

就職状況も、昨年・今年は順調で、来春も明るい見通しようです。

入学応募者の方は、過去10年位は、最終的には1.5倍前後でした。しかし今後、生徒数が急減しますので、いよいよこれからが大変です。魅力ある学科、工業高校の再生が求められています。

昨年、この会報で、科の改革についての御意見をとお願ひしましたところ、早速、多数の御手紙・御電話を頂き有難うございました。

御意見を集約しますと



①技術革新に対応すること
②繊維をベースにするにしても、間口を広げること、の以上二つの様です。

S科としても、10年取組んでおりますが、昨年は既報の様に、写真の様な、コンピュータ制御の横編機及びグラフィックデザインシステムの導入が、現在、生徒にも、大変人気のある実習となっています。

科としては、繊維(材料・織物・ニット)をベースとして、デザイン技術(デッサン・ろうけつ染・型染・テキスタイル・デザイン等)、情報技術(ベーシック・フォートラン・マシン語・各種モータの制御・インタフェイスの製作等)の三本柱とすることを決め、毎年工夫しながら、取り組んでいます。

今後は、全国の繊維系学科四十余校の結集する、日本繊維工業教育研究会での研究をもとに、改革を進めていきたいと思ひます。

今後とも、よろしく御助言、御意見等お寄せ下さい。

さて、話はかわりますが長い間本科で教鞭を、これ、ご指導、ご尽力頂い

色染工業科だより

た、市原基美先生(12月)、飯島チエ子先生(9月)が昨年ご逝去されました。あまりにも突然のことと、驚愕しております。慎しんで

ご冥福をお祈りします。最後にになりましたが、卒業生の皆様方の御健勝とご多幸を、心からお祈り申し上げます。

卒業生の皆様には、平素何かとお力添えを賜りましてありがとうございます。就職については勿論、実習用の染料・薬剤・被染材料の入手等では一方ならぬお世話になり、感謝いたしております。

○今春には別掲の27名の卒業生(女子19名)を送り出しました。今度も卒業生諸氏を含む多数の企業より求人をおいただきましたが、ご希望にそいかわることが多く、恐縮いたしております。厚くお礼申し上げます。

○新一年生は男子12名、女子31名で、科全体では、男子40名、女子76名となっております。新一年生の担任は正植先生です。

来年以降は高校入学生の大急激期に入ります。優秀な人材の確保は業界の浮沈にも関係してまいります。卒業生の皆様の周辺の男子中学生には是非PR下さい。○かねてからの念願であり

ましたCCMシステムが文部省の特別装置予算でもって、昨12月に導入されました。本年度より、三年生の実習にとり入れ、現在基礎データーの集積中であります。これを契機に、色彩感覚の向上と色彩管理に関する学習の深化をはかっていく予定であります。

○62年以来、実習を中心に生徒指導にあたっていたいたしております三村とみ子先生(D59卒)が、この度退職され、その後任として工芸高校より沼田智恵子先生をお迎えいたしました。

○本年度の大阪市高等学校開放講座「染色入門」を大阪市教委の依頼で引受けることになりました。本校としては、昨年のセラミック科に引続くものです。市民サービスとひいては色染工業科のPRにもなることですので、先生方にご無理をお願いしました。8月19日より13回毎土曜日実施です。

“色を選ぶ時代になりました。色に関して技術で無限の美しさを追求します”

毛糸、敷物用の糸及び
紡績原料の染色加工

北嶋染工株式会社

社長 北嶋 豊 (D20卒)
専務 北嶋 明良

〒595 泉大津市昭和町5番2号
TEL (0725) 21-4116 代
FAX (0725) 22-4522

プラスチック着色の明日を担う!

合成樹脂押出成形諸機械製作販売

SEIWA

有限会社 誠和鉄工所

代表取締役 矢島 健二 (S39卒)

本社工場 〒574 大東市大東町8-60
TEL (0720) 75-1345
FAX (0720) 75-4064
第一工場 〒574 大東市新田西町4-3
TEL (0720) 70-3369

セラミック科だより

卒業生の皆様、ますますお元気でご活躍のことと存じます。平素は窯業科、セラミック科の発展の為に数々の御尽力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

四月から前川先生が生活指導課から科へ戻って来られました。岩崎先生は教務課へ、池中先生は生活指導課へそれぞれ出向され、頑張っておられます。

新入生四十一名（内女子三名）を迎え、生徒総数百十二名（内女子四名）でスタートしました。三年生は「窯業科」最後の卒業生となります。ほとんどの生徒が就職希望です。先輩諸氏の応援をくれぐれも宜しくお願いいたします。さて平成三年三月には、セラミック科第一期卒業生が皆様の仲間に加わります。この際同窓会名の泉窯会を要するべきか否か検討してはと思いますが、いいアイデアがあればお教え願います。

本年の体育祭「：向う窯業に敵はなく」と別表の通り、一年が学年優勝、C科は総合優勝を勝ち取りました。在校生一同頑張ると思いますが、来年から「向うセラミックに敵はなく」と

平成元年度学級担任

年	1年	2年	3年
科	正	副	正
S	桑原	中野	大石
D	正	六	北
C	前	池	比
A ₁	和	木	井
A ₂	上	鳴	山
M ₁	横	小	村
M ₂	黒	西	乾
E ₁	小	河	中
E ₂	足	金	佐

したものの、これもいい知恵があればお教え下さい。

昨年六月四日から九月三日まで、セラミック科で高等学校開放講座「陶芸入門」を実施いたしました。講師は阪口、岩崎両先生がなされました。三十名の募集のところ、応募者が三〇八名にもなつて大変な人気でした。応募者の中には卒業生の皆様もおられた様ですが、抽選もれされた方々には大変申し訳ないことをしました。講習の様子は新聞やテレビで報道され、近畿一円広く紹介されました。今年は他科で開放講座が行なわれる予定です。

昨年七月十五日大阪白水会総会当日、泉窯会も開催され、安田会長はじめ懐しい顔ぶれがそろい、盛り上りました。次回の泉窯会にも皆様是非御出席下さい。最後に皆様方のご健康と

工業化学科だより

ご多幸を心からお祈り申し上げます。

卒業生の皆さん元気に御活躍のことと思います。

工業化学科の現況をお知らせいたします。

人事移動で新しくお見えになった先生は北村翼、阪井利光、松本健太郎の三先生で、お送りしたのは三羽昭典、西井基夫先生です。

昨年の会報でもお知らせしましたように本科では時代に即した実習としてバイオ関連実習を行つています。大阪市教委の尽力により立派な機器が入り、三年

燃えよ

体育祭

△本年のテーマ▽

本年の体育祭は、5月31日に好天気のもと本校校庭で開催されました。

本年の成績は、次の通り。

尚、自由参加の仮装は、色染工業科が優秀賞を獲得。

	優勝	2位	3位
総合	C	M	E
1年	C	M ₂	S
2年	M ₁	C	E ₁
3年	M ₂	E ₁	D
応援	M	D	S
背景	M	D	C

BRIDAL FURNITURE INTERIOR

いい家具は、人を語る、暮らしをつくる。

株式会社
ONOE **オノエ家具**

堀江本店 〒550 大阪市西区南堀江3-3-8 ☎(06)543-4141(代)
FAX (06) 530-4109
箕面店 〒562 箕面市箕野2-1-33 ☎(0727)22-3224(代)
豊中店 〒560 豊中市北桜塚3-1-5 ☎(06)849-3057(代)
インテリアショップ ONOE
〒565 豊中市新千里東町1-3-216 ☎(06)834-6121(代)
(サンタウン・専門店街2F)
ホームインテリア オノエ
〒550 大阪市西区南堀江2-9-22 ☎(06)543-4110(代)

昭和34年工業化学科卒 代表取締役会長 尾上一雄

建築・木造・造作工事一式

株式会社 **益田組**

代表取締役 益田 治 (37才)

〒554 大阪市此花区梅香2丁目2番17号

TEL (06) 461-5212

FAX (06) 461-2420

機械科だより

卒業生の皆様方には益々ご健勝にてご活躍のことと存じます。平素は母校並に機械科発展の為に尽力を賜わり誠に有難く厚くお礼申し上げます。

今春の卒業生は79名で、その総数は二、六二八名となります。

本年は機械科職員の移動はなく、皆元気で頑張っております。今年も非常勤講師として林賢先生(都二工・55卒)が8時間(週二回)の座学を担当されています。学級担任(正副)は七ページの通りです。進路指導課へ綾井先生、生活指導課へ丸岡先生、教務課へは西平先生とそれぞれ出向され頑張っております。

就職対策並に学習意欲向上を計る一助としてライセンス関係の取得に挑戦させて参りましたが、従来のガス溶接講習会、危険物取扱者、製図検定、情報処理検定、計算技術検定、英語検定、の他に今年より第三種冷凍機責任者、二級ボイラ一技士の二つが加わりました。

拟前回はコンピュータ一導入による白水会報の発送、名簿の打出し、就職指導の情報提供等が可能になった事を申し上げますが今回は学校行事について触れてみたいと思います。学校行事で科に関した大きいものは先ず学校祭(体育祭(五月)、文化祭(十一月))があります。体育祭では生徒諸君の頑張りのお蔭で成績もよく総合優勝(61・62・63)、応援の部優勝(60・61・62・63)、背景の部優勝(61・62・63)、各学年優勝1年(59・60・62・63)2年(60・61・62・63)3年(60・61・62)とその成績は誠にすばらしいものであります。又文化祭ではクラス展示等の部で科の特徴と技術を生かした製作物(ホーバークラフト4W O車、ゴーカート、電気自動車等)で夫々良い賞をもらっております。恒例の耐寒歩行は今年は飛鳥方面の順で久々にいにしへの古きをたづね、又春の校外学習は京都の順で東山方面をめぐりました。

本年も間もなく就職戦が始まります。求人開始7/1、テスト9/16ですのでこの点に重点をおい「接模模練習や卒業生を呼む会

電気科だより

を予定しておりますが、先輩諸兄におかれましても、ご支援ご協力頂きます様、お願い致します。

最後に卒業生の皆様方のご健康並にご多幸を心よりお祈り致します。

卒業生の皆様には益々お元気でご活躍のことと存じます。昨年は卒業生の皆様のご協力により電気科同窓会「紫電会」の盛大な発足会が開かれ、学校長をはじめ電気科職員一同大変喜んでおります。今年から七月に開かれます大阪白水会の総会に併せて紫電会の総会も開かれることとなりますので、多数参加され紫電会を盛り上げて下さい。

さて、今年春の人事移動で中坪善満先生が都島工高へ転任、田中孝治先生が本校教頭に昇任されました。後任には都島工高から千賀保和先生、泉尾第二工高から平野猛先生をお迎えしました。

今、世の中の技術革新は正に日進月歩で目を見張るものがあり、工業高校生も先端技術に触れられるよう実習設備の改善・充実が求められています。電気科にもやと本格的な教育用ロボット実習装置が今年六月に導入されました。この装置はワーク供給・収納ロボット、自動倉庫・形状判別ロボット、搬送・組立てロボットから成り立っており、今日産業界で活躍しているロボットの基本を学習・体験することができ、さらに今後、光通信関係の実習装置の導入も計画されており、これらの導入により実習内容もこの数年で大きく変わろうとしています。これに伴い職員も新しい設備を中心に生徒に少しでも新しい知識・技術を理解してもらおうと懸命の努力と研究を重ねております。卒業生の皆様も電気科教育に参考となる情報やご意見がありましたら是非お寄せ下さい。

平成元年三月、それぞれの進路に向かって果立って行った生徒達。四月末から五月のはじめにかけての連休を、彼らはどうして過ごしているだろうか、と科内で相談していた所、吉報が届

きました。――入社式に参加し、社長を始めとし役員のお言葉を戴き改めて社員としての自覚をかみしめました。

希望に満ちたこの感激はいつまでも心に残るものであると思います。――

後輩諸君に対して誇りを持てるような社会人になるように頑張ります。ゴールデンウィークには大阪に帰り、学校へ顔を出すつもりです。――

東京からM君、茨城県からK君、愛知県からO君、奈良からT君と12名の生徒たちが顔を出してくれました。

(E科M・K・S)

卒業生の皆さん、頑張ってください。

また、前向きに厳しい現実には挑戦の姿勢を感じました。

卒業生ひとり一人は、決して甘たれていない。

話に花が咲き、私たち知らぬ生徒の一面を教わった次第です。

連休後、大阪から愛知県へ勤務となるI君の淋しい言葉に、すでに愛知で活躍のO君が、まかせなさい。と先輩風を吹かせておりました。

建設機械のリース・レンタル専門

有限会社 日商機械

姫野 康通 (M47卒)

- | | | | |
|----------|-------------------|-------------------|------|
| 本社 | 大阪市浪速区木津川1丁目2番3号 | 電話 (06) 568-3236 | 2番7番 |
| 総合機材センター | 大阪市西成区南津守2丁目2番43号 | 電話 (06) 658-2243 | 3番1番 |
| | | FAX (06) 658-9481 | |
| 営業本部 | 大阪市浪速区堀草3丁目5番20号 | 電話 (06) 568-3211 | 1番2番 |
| | | FAX (06) 568-3212 | |

63年度卒業生の進路

先輩の活躍に支えられて

会員の皆様にはお元気で活躍のことと存じます。本年も三二九名の者が、本校を巣立って行きました。63年度の就職状況は、生徒にとって大変恵まれた年でした。内需拡大政策の効果が現われ始めたためか、求人会社数も増加し、62年度の1.5倍となりました。しかも受験者の合格率が高く、9月末で85%の生徒が内定。又10月末には学校紹介希望者のほとんどが内定するといった状況でした。生徒自身もよく勉強して、試験に臨んだようすが、景気の良さも手伝ったようです。

整理された求人票を閲覧させました。それにより、8月下旬の受験企業決定が62年度よりスムーズにいったようです。コンピュータを導入して、これも2年目となりますが、事務処理もスムーズになり、担任、生徒にも、より豊富な情報を提供することができました。

進学関係につきましては、62年度より幾分少なく、近畿大学商経学部Ⅰ部、帝國女子短期大学に各1名、大阪総合職業訓練学校（港灣分校）に3名、その他専門学校に8名進学しました。求人説明に来られる方の話を聞きますと、今年度もこのような景気は続きそうだというので、進路担当者としても、そのようになる事を願っております。

今後共、諸先輩方のご支援をよろしくお願い申し上げます。

（進路指導課長 櫻井 薫）

62年度の反省に基づき夏休み中に、7月下旬、8月下旬と2回生徒を登校させ、それぞれの時点までに

計	その他	家業	学校等	専修	大学	就職	性別
287	24	7	1	1	1	255	男
42	7	1	1	1	1	33	女
329	31	8	2	2	2	288	計

◆繊維工業科

大阪クロード 石垣 敏美
非破壊検査 内海 照史
御都ニッ 大東 智仁
新栄建設 奥山 美樹
住之江織物 寛 謙一
日本大洋海底電線 五代 健一

大勝水産 川内 紀子
川上 直美
（財）日本メリヤス検査協会

十條倉庫 黒瀬 貴浩
黒田 智美
松尾繊維工業 齋藤有希子
西大阪自動車 坂本 孝二
前田産業 笹谷 繁
大阪ニッ 三場 静香
摂津毛糸工業 新谷 洋治
東和織物 鈴木 進一
岡崎鉦産物 鈴木美千代
セツナン化成

四国化研工業 清家 照美
オール薬品工業 照喜納利則
翁菓子本舗 出来 初美
（財）日本紡績検査協会 田路 香里
永田 久代
三景 浜村 博幸
アイコー工業 春駒 勝仁
サンスター技研 福地ちさ子
坂口眼科医院 福岡久仁子
T・Kテック 堀川 美樹
東洋製罐 三木 和美
日本メリヤス 森本 澄子
トランスコスモス 吉川小白台

近畿大学 山本 哲介
大阪モード学園 石原 宏一
自営 酒類販売 松本吉勇貴
家事 中元 美穂
◆色染工業科 新興化成 石井 孝治
日本化成 川添 綾子
東洋興業 上田 静江
御サニックス 宇野 敦子
パリゼンヌ 太田 徳弘
コミー 大原 正行
小野田恵子
中山 美穂

倉敷紡績 小池 雅美
ダイア精化 濱田 陽史
樋口精機 小池 三智
日本染化工業 小阪 淳子
佐々木康恵 末岡 豊子
敷物検査協会 武中 幸恵
クロバー石鹼 武政美代子
松尾捺染 第一稀元素化学工業 島海 一弘
富士シル工業 新田 祥子
神明成商會 藤井 英治
吉川工業 山下 茂治
カネボウ化粧品大阪第一北 白 菅
阪売 山本麻樹子
横川真奈美
吉中 孝文

◎進学 帝國女子短大被服科 岡本 綾香
朝日コンピュータスクール 日向 貴子
家事手伝い 白松かおり
田原 康子
◆薬業科 尾崎工務店 青木 実
アサヒ衛陶 赤岩 英一
日本産業 池野 直紀
大創プロセス 辰巳 宏和
今井 信幸
大澤 義弘
岩佐 新一
大トー 大トー 新一
オリエンタル酵母工業

大阪銅板工業 大川 真美
大久保伸二
大谷 一彰
トヨクニ 奥田 仁
日本ビグメント 栗果 孝
中山家具 鹿子 雅文
泉陽光学 桑江 朝章
大阪港湾カレッジ 齊藤 宏之
平尾 貴範
富士シル工業 小寺 大介
神崎製紙 坂下 博紀
作山塗装 作山 憲治
清水 蕪
大阪玉造銅業 新川 貴法
中野電器 新富 勝久
日本坩堝 高垣 歌織
大冶工業 田中 徳貴
不二サッシ 土井 隆文
ダイヤモンド魔法瓶工業 野田 進一

日本運送 初瀬 誠
前田産業 原田 洋一
東洋 毛利 真一
伸和エンジニアリング 横田 幸治
敷島アルミニウム 吉岡 政和
トヨヨーサッシ 吉岡 憲司
日本フリット 和田 学
◆工業化学科 秋田 博志

◎進学 近畿大学 山本 哲介
大阪モード学園 石原 宏一
自営 酒類販売 松本吉勇貴
家事 中元 美穂
◆色染工業科 新興化成 石井 孝治
日本化成 川添 綾子
東洋興業 上田 静江
御サニックス 宇野 敦子
パリゼンヌ 太田 徳弘
コミー 大原 正行
小野田恵子
中山 美穂

倉敷紡績 小池 雅美
ダイア精化 濱田 陽史
樋口精機 小池 三智
日本染化工業 小阪 淳子
佐々木康恵 末岡 豊子
敷物検査協会 武中 幸恵
クロバー石鹼 武政美代子
松尾捺染 第一稀元素化学工業 島海 一弘
富士シル工業 新田 祥子
神明成商會 藤井 英治
吉川工業 山下 茂治
カネボウ化粧品大阪第一北 白 菅
阪売 山本麻樹子
横川真奈美
吉中 孝文

大阪銅板工業 大川 真美
大久保伸二
大谷 一彰
トヨクニ 奥田 仁
日本ビグメント 栗果 孝
中山家具 鹿子 雅文
泉陽光学 桑江 朝章
大阪港湾カレッジ 齊藤 宏之
平尾 貴範
富士シル工業 小寺 大介
神崎製紙 坂下 博紀
作山塗装 作山 憲治
清水 蕪
大阪玉造銅業 新川 貴法
中野電器 新富 勝久
日本坩堝 高垣 歌織
大冶工業 田中 徳貴
不二サッシ 土井 隆文
ダイヤモンド魔法瓶工業 野田 進一

山本電気工事株式会社 市川 宏	富士シール工業株式会社 野中 武	マロミ産業株式会社 酒井 裕一	◆機械科 株式会社 ウツエバルブ 荒木 優二
大阪セメント株式会社 一明 秀樹	日本化学工業株式会社 日本化学工業株式会社 津本 匡俊	フジケミカル株式会社 島袋 裕充	近畿輸送倉庫株式会社 家氏 尉年
荒川化学工業株式会社 大瀬 健次	株式会社 ハーベン 平山 成実	サンスター技研株式会社 新小田孝友	日新製鋼株式会社 植本 裕二
山六化成工業株式会社 奥田 真司	株式会社 寺崎電機製作所 藤田 弘幸	日光化成株式会社 高柳 清	日本技術株式会社 石井 一也
御雑賀製作所 尾花 薫	株式会社 アサヒベン 藤原 宏介	和光純薬工業株式会社 田中 一弘	フジテック株式会社 井出 克治
日本油脂株式会社 柏岡 大	三協化成株式会社 藤原 裕司	川上塗料株式会社 田中 幸二	奥野製菓工業株式会社 井村 学
山本化成株式会社 嘉手納智明	関西金網株式会社 古川 順二	日研株式会社 土山 宏明	明星工業株式会社 大野 栄一
扶桑薬品工業株式会社 兼田 英樹	古河鋳業株式会社 松本 博樹	前田産業株式会社 堂後 貴広	日研株式会社 中田 幸児
株式会社 白洋舎 衣笠 雅延	口産プリンス大阪販売株式会社 丸山 勝正	大阪府トラック協会 中村 進	前田産業株式会社 楠本 嘉尚
セツナン化成株式会社 衣笠 雅延	株式会社 レモンハウス 森下 上総	株式会社 永廣堂本店 西極 清貴	谷本鉄鋼株式会社 齊藤 聡
日本バーカライジング株式会社 久原 広治	植田製油株式会社 森田 浩司	東邦油脂株式会社 橋元 博樹	淀川製鋼所株式会社 佐名 勉
日本新金属株式会社 紺屋 智	田崎真珠株式会社 山内 孝二	大日本インキ化学工業株式会社 濱本 圭栄	太陽製缶株式会社 眞田 昌男
松下電工株式会社 志野 正剛	日本ヘイント株式会社 吉岡 孝司	マリンフード株式会社 前畑 憲治	三田工業株式会社 芝 一也
日建加工工業株式会社 下村 俊博	渡辺工務店(白宮) 渡邊 隆之	第一稀元素化学工業株式会社 前畑 憲治	トランスコスモス株式会社 田元 修
オリエンタル酵母工業株式会社 菅沼 弘高	三協石油株式会社 池田 功	株式会社 新室染工場 村井 昭郎	株式会社 博電舎 土門 栄二
近畿電気工事株式会社 川瀬 博久	大和化学工業株式会社 伊勢 隆司	内外インキ株式会社 森下 智之	株式会社 メイテック 中川 武彦
田岡化学工業株式会社 千田 将之	岡崎産業株式会社 井手 克美	東宝薬品株式会社 山下 誠士	株式会社 エムエス設計 藤村 貴範
扶桑化学工業株式会社 田中 宗長	ラサ工業株式会社 香川 義幸	電算フォーム株式会社 山本 敏樹	株式会社 エムエス設計 中野 憲文
株式会社 トヨクニ 多村 純一	帝国化工株式会社 山口 健二	◎進学 大阪電子専門学校 坂田 紀朗	児島電機株式会社 野原 敬史
篠原電機株式会社 津田 洋嗣	塩野義製薬株式会社 馬屋原淳一	就職 大阪文化服装学院 北村 弥久	日研工業株式会社 橋本 圭介
青木油脂工業株式会社 中尾 義文	昭和情報機器株式会社 大森 隆行	大阪文化服装学院 福村 芳彦	日本化学機械製造株式会社 橋本 輝男
奥田製薬株式会社 中崎 隆則	株式会社 タツタ 北園 秀一	進学準備中 竹原 修一	ホソカワミクロン株式会社 西中間英樹

手編糸・メリヤス糸 晒加工

株式会社 佐野毛晒工場

田 阪 雅 計 (D28卒)

〒535 大阪市旭区中宮1丁目10番28号

TEL 954-2151

水産物卸売業

株式会社 大勝水産

専務取締役 田 中 豊 三 (S38卒)

〒553 大阪市福島区玉川3丁目15番18号

TEL (06) 445-2571

FAX (06) 445-7848

[illegible]

文化部の活動

△有る、そして、在る▽

。音がある
。楽器が歌う、楽がある。
。土がある
。ろくろが笑い、形がある。
。色がある
。絵筆が踊る、芸がある。
。車がある
。エンジン唸り、動がある。

。光ある
。カメラが写す、真がある。
。茶の葉ある
。釜が沸き立ち、道がある。
。J・R・C
。点訳作業、愛がある。
e・t・c、e・t・c
。部活ある
。学苑内に、文化ある。

△プラスバンド部▽

永らく使用していた西館4Fの部室からグラウンド隅のクラブハウスに引っ越ししました。使用不能の楽器を処分し、修理可能のものを含めて10種ばかり移動しました。部員9名(内新一年生一名加入)顧問4名(北川・近藤・村田・及び新任のA科阪井先生)で心機一転、トランペットやクラリネット、そして購入予定のフルートの快音を校庭に響かせたいと考えています。

△鉄道研究部▽

62年度から製作にとりかかったNゲージレイアウトは今年度レール敷設の完成を目指しており、4列車同時運転が可能・常時18列車留置可能・将来の自動運転に備えて電気配線を小さなセクションに分割する等の特長をもつ。HOゲージは未だレイアウトが無く、走行展示はできるものの本格的なレイアウトは来年度から製作が着手できるよう準備を進めているところなので寄贈品の展示を見易くする工夫を考えています。新年度入部の一年生は2人で共に鉄道マニア、今後の活躍が期待されま

△科学部▽

昨年は「水」をテーマに分析研究し、文化祭で努力賞をいただきました。部員数は3年生3名、2年生4名ですが、頑張っております。

今年の文化祭では、「大気・水質・培養」のテーマで発表しようと、準備を進めております。

△軽音楽部▽

楽器の初心者からかなり上達した者まで、バンド活動を中心として、毎日練習に励んでいます。フォークなど他のジャンルがないのは少し残念ですが、ロックの中では、以前より多様化して来ており、幅広い音楽を目指してがんばっています。また、文化祭、新入生歓迎会、卒業生を送る会など、あらゆる機会をとらえて、練習の成果を校内発表しております。

△茶道部▽

昨年末から急に部員が増えて活動しています。町の茶道教室とちがって、皆で集まって楽しく話をし、自然にいろいろなマナー・ルールを身につけて、ゆくゆくは、真の悩みごとをうちあけあえる、そのような場にしたいと思っています。

今、自分たちの使用する

お茶碗をセラミック科のお世話になり焼いたりしています。今年の文化祭には、お茶会の席を設けたいと思っています。

△映画研究部▽

89年度は学校にビデオ編集機も入り、視覚感性にうったえる作品をつくり、数多くのコンテストに出品し、賞を取ろうと考えています。

△計算器部▽

今年度、一年生四名入部し、文化祭に向けて、有意義な形あるものを展示発表しようと部員一同、はりきっております。昨年度は、パソコンをつなぎ、ゲーム等のソフト中心になりましたが、今年はハードも取り入れておもしろ味のあるものにしようと考えています。活動日は火曜、木曜日、西館四階電気科高周波実習室で行なっています。

△J・R・C部▽

(青少年赤十字団) 部員三名(三年生)のままた2年間が過ぎました。ボランティア活動を中心とする人道的立場に立った諸活動は、現在の高校生には理解されにくいのか、部

スナック るーてーじん



中 村 憲 重
(S 42卒)

〒530 大阪市北区曽根崎2丁目5-22
日宝パティオ曽根崎4F
TEL (06) 314-3608

防錆剤・防錆添加剤 キレート剤



キレスト化学株式会社

本 社 大阪市北区梅田1丁目1番3-1100
(大阪駅前第3ビル11階)
電話大阪 (06) 344-6451(代表)
ファックス (06) 344-4997
東京支店 東京都中央区日本橋小伝馬町16番5号
〒103 (新日本橋長岡ビル5階)
電話東京 (03) 664-6044(代表)

代表取締役 南部 忠彦(M39卒)
営業次長 唐津 麻修(A41卒)

さて、部活動も一年生が十数名入り、三年生を中心にがんばっています。グラウンドの関係で、月木土の三日間、練習しております。

硬式野球部 昨年度秋季工業大会に久しぶりに優勝しました。規模は小さくても優勝という二文字は、部員にとって大きな自信になったことと思います。

一年生部員が新たに20人入部し、48人の大団帯になりました。今年も7月15日から夏の選手権大会が始まります。皆様方のご期待に応えるよう部員一同、日々練習に励んでおります。

M47年卒、姫野康道氏(日商機械)より、発電機を寄贈いただきました。紙面をお借りしまして御礼申し上げます。

野外活動部 63年度は部員も多く、練習量も割合に豊富であったので、秋の市立大会では、久しぶりに優秀賞を獲得しました。

また、昨年の文化祭にも一年間の活動報告をかねた展示を行いました。

主として六甲方面、金剛・岩湧山方面の山行をはば毎月一回の割で実施しております。

八月下旬に行う、夏季合宿を目標に練習をしております。

軟式野球部 軟式野球部は毎日泉尾グラウンドと校庭で練習しています。

堀田先生が平成2年3月

31日でご退職されます。今年の夏の合宿が最後になります。7月21日より7月24日まで合宿を行いますのでOBの皆様合宿に参加して下さい。

本年度堀田先生を送る会を開くためOB、OG会を開きたいと思っております。住所電話番号を必ず伊藤、白戸までお知らせ下さい。

陸上部 昨年の市立大会は、男女共に総合3位でした。男子12名、女子3名の参加で、特に400m1位津田(二連勝)、2位西極や女子全員(投デキ)の上位入賞と、健闘をいたしました。

その他主な成績は、槍投福岡の国体予選3位、大阪ジュニア優勝。本年には、インターハイ地区選手権優勝など、インターハイ本番への期待が高まっております。他の部員も地区選手権において、自己記録を更新し、意欲に燃え試験中も練習に励んでおります。

アメリカンフットボール部 今年より、再び活動を始めました。

一年生部員4名が入り、まずは基礎体力づくりからとがんばっています。いつかは全国大会に出てレビに出来るようがんばります。

でやっていきたいと思っておりますので、応援よろしく願います。

水泳部 現在部員3年5名、2年4名、1年2名、マネージャー2名(1年)です。

昨年は市立大会団体3位個人では1名が高校対抗・新人戦ともに決勝まで残りました。

昨年来られました和泉武志先生(体育)が生野工高に、転勤されました。本年度はかわりに加藤先生(体育・大阪体育大学、専門水泳)をお迎えし、顧問・部員一同一層の充実をと、はりきっております。

レスリング部 昨年度は、秋の新人戦において、希望の団体3位の成績をおさめました。しかし個人戦においては全く振るわず、近畿大会出場者1名という、大変不満の残る一年であったように思います。何とかして今年度は複数の選手を近畿大会へ、そして一人でも全国大会へ出場できるように頑張りたいと考えています。

柔道部 全国大会出場を目標に、日々精進しておりますが、昨年度も団体、個人とも大阪府下でベスト8どまりでした。しかし、市

立大会では三度目の優勝、工業大会では4連覇を達成することができました。

今年度は、昨年のチームより少し小柄になりますが、チームワークではひけをとらず、元気のいい試合が期待できそうです。新人生も21名(うち、有段者10名、女子4名)迎えることができ、総勢33名で心機一新、頑張っております。

ボウリング部 昭和61年10月のクラブ昇格以来技術の方も順調に伸びて来たのですが、ここの二年は少しマンネリ感で生徒たちも悩みながら練習している今日このごろでした。

しかし、そのような折東京のボウリングマガジン社より取材があり「自分達のことが雑誌に載る」(5/12発売)と言うことで、「恥ずかしいプレーはできないガンバロー!!」と気持ちを新たに、練習にも気合いが入ってきました。センター練習日は昨年同様、週三回(月水金)と、北区大徒三全ボウルで行なっております。

剣道部 昨年度の主な戦績は、インターハイ大阪府予選……ベスト16

市立大会……三位(団体・男女個人共)

のが現状です。

叙 勲

布谷 伊光氏(S4)

大阪白水会副会長で大阪布谷精器株式の社長でもあられる布谷伊光氏が、勲五等雙光旭日章を本年4月29日授章されました。

今回の叙勲は、多年にわたる船舶用コンパス、機器類の製造並びに関連大学・研究機関の充実に対する貢献、ISO委員としての国際的活躍を顕彰するものであります。

おめでとうございます。

無限の未来に挑戦する

上野精器

超精密産業部品及び治器具製造

サファイアー・セラミック・フエライト

水晶・超硬合金・航空機部品

ロボット部品・挿入機部品

大阪府守口市北斗町20の1

上野精器株式会社

代表取締役 上野 勇(M25卒)

T E L 992-2371代

ファックス992-8264

思い出は泉のごとく

南 敦子

白水会の皆様お元気でいらっしゃいますか。

思い出かえしますと、昭和二十七年十一月、田舎育ちの私が都会への夢をふくらまして、泉尾工高に就職いたしました。それから、いつの間にか三十六年。昨年十一月退職いたしました。

その間、先生方はじめ皆様のあたたかなお力添えにより、大過なくつとめることができましたことを、心から感謝申し上げます。

昭和二十七年と申しますと、終戦後の混乱からようやく立ち直りかけた頃で、全国的に学校図書館づくり



に乗り出した時期でした。泉工でも長瀬先生を中心に図書館の実業に、昼夜共同で勤んでいました。

当時はまだ出版物も少なく、いたしかけた本の修理や製本なども、図書委員と共に手がけることも度々でした。放課後おそく、誰もいないと思っていた書庫の隅から、こつこつと木槌の音が聞こえてくる日、黙々と製本に励んでくれている生徒がいたのです。長瀬先生が描いてくださった、少女の美しい絵が表紙にな

た。その中に、私が泉工に就職して間もない頃、図書委員として活躍してくださった方がいらっしゃいました。すでに五十才に近いであろう立派なお姿に、かつての少年時代の面影を重ねながら、過ぎ去った遠い日をなつかしく思い出したことでした。

今の図書館は、旧図書館の一・五倍はある明るく、利用しやすい図書館となっています。近いうちに空調設備も完備されるとか洩れ聞いています。

今もって私の脳裏には、暮れなずむ泉尾の空に、こげまとなって吸いこまれていった三三七拍子の音が、ありありとひびいてくるようです。

まだまだ思い出は泉のごとく尽きませんが、残りの

三十二年の泉工勤務

三羽 昭典



白水会々員の皆様には、その後お元気で、それぞれの特場で活躍の事と存じます。私は今年三月末日をもちまして、約三十二年間勤めさせていただきまし

た泉尾工業高等学校を、定年退職致しました。健康で、大過なく定年退職を迎える事ができましたのは、これひとえに、職員の皆様並びに卒業生の皆様のご指導、ご鞭撻、ご高配の賜物と、心より感謝しております。この機会に改めて厚くお礼申し上げます。

私が、泉尾第二工業高等学校より、本校に赴任してまいりましたのが、昭和32

白水剣友会

大阪府下剣道大会で優勝

去る昭和六十二年七月二十日に開催されました。第三十五回記念大阪府剣道優勝大会社会人の部（九〇チーム出場）で堂々優勝の栄に輝きました。

母校の道場に恩師山崎守先生（旧姓安達）の揮毫による部旗「錬磨」を掲げて、後輩指導に汗を流しているOBの努力が府下優勝という偉業を成し遂げたのではないのでしょうか。

当日の出場選手は、先峰山畑克明（A63）次峰三好宏行（M50）中野西明（E49）副将植西輝吉（M46）大将米田信嗣（S37）

（白水剣友会 会長 山畑 阿威磨）

に思い、感謝しております。退職後は、今まで余暇の都合で、できなかった色々な事に、一つ一つ挑戦してみたいと考えております。

永い間、本当に有難うございました。

会員の皆様が健康で、益々ご活躍されます事をお祈りしまして、ご挨拶とさせていただきます。

泉工時代の思い出

中 坪 籌 満



私は、この4月に都島工高へ転勤致しました。泉尾工高へは、昭和39年4月、設置2年目の電気科に赴任してまいりました。この年は、東京オリンピックが開催され、それに合わせて世の中の変化に伴ない、

一隅を照らす光たらん

田 口 晶 啓

二十三年もの長い間の泉尾工業高校への愛着を背に、東淀工業高校に転任しました。

教師時代の幼児期・少年期・青年期を生徒と共に学んだ長い長い泉尾工業高校の体験は、私の教師観・生徒観・教育哲学をしっかりと確立させてくれました。情報化・国際化の波が学校教育界にも押しよせてきました。どんどん変化していく時代に、一つの職場の体験を「是」とするには、あまりにも体験不足という

生徒達の意識や価値感も大きく変わり、気持も掴みにくくなりました。このような状況の中で、電気科では早くから資格の取得に力を入れてきた結果、在学中に電検に合格した生徒もあり、やれば出来るという一面も見せてくれた事は記憶に新しいところです。

クラブ活動では、当初、卓球部でしたが、54年4月からは、バドミントン部の顧問になりました。そこでの苦勞は、今では考えられませんが、練習場所の確保でした。又、古い食堂時代の合宿も大変思い出深いではない。

学生時代はサッカー一本槍だったが、教員になってから、生徒や先生から色々教わった。水谷先生からはスキー。吉田先生からは水泳等教えきれない。

自分を省たし、私は、後進に、生徒に何を教えたのだろうか。ちよつぱり悔やんでいる。担任は四回。電気科と窯業科。特に文化祭、体育祭、耐寒歩行、修学旅行等の学校行事には、夜おそくまで各科の先生方の協力を得て生徒は、作品作りや、練習に汗を流していた。

これも伝統ある泉尾工業高校の生徒指導の自信のある。市立大会では、一戦一戦が手に汗握る試合もありましたが、好成績を残せたことも忘れることができません。

— はじめまして、よろしく —

本年は、次の先生方をお迎えいたします。ベテランの先生、新進気鋭の先生ともどもよろしくお願い申し上げます。

氏 名	教 科	
熊田 達哉	数 学	新 任
山城 吉晴	英 語	新 任
加藤 浩二	保 体	天王寺商から転任
奥林 朋子	家 庭	新 任
沼田智恵子	色染工業	工芸から転任
阪井 利光	工業化学	新 任
北村 翼	工業化学	都島工から転任
松本健太郎	工業化学	新 任
千賀 保和	電 気	都島工から転任
平野 猛	電 気	泉尾二工から転任
秋田 要	事 務	鶴見商業から転任
友田 紀子	図 書	天王寺二商から転任

早く！ 安く！！ 美しく!!!

ステンレスサッシ・ドアー
スチールサッシ・ドアー
アルミおよび各種外装パネル
手 摺・面 格 子 式
其 他 建 築 金 物 一 式

株式会社 新光建材

代表取締役 池之内 猛 (M43卒)

☎577 東大阪市柏田東町7-10
TEL 大阪 (06) 728-2399 番
ファックス (06) 727-6950
松原工場 ☎580 松原市阿保2-133-3
TEL (0723) 31-5224

飯島先生・市原先生

を悼む

昨年9月25日に飯島先生が、そして又12月11日には市原先生が急逝されました。かつて長い間繊維工業科の職員室で一緒に働いていた飯島先生・市原先生が相次いで逝かれ何とも云い難い淋しさを感じております。

ふりかえってみますと、市原先生が本校の紡織科に奉職されたのは戦後間もない頃でした。荒廃した校舎に追打ちをかけるように襲ったのが台風による水害で実習場も廃墟となった大変な時代でした。

飯島先生は昭和23年9月から御退職になった昭和44年まで21年間の長きに亘り勤務されました。ご退職後もお元気で大勢のお孫さんやひ孫さんに囲まれて、お幸せな老後をお過ごしになつていたのですが突然のことでした。76才でした。先生は大変明るい性格であり、又人一倍人情の厚い方でした。他人の身の話をしにもすぐに涙をこぼされて、自分のことのように悲しんだり、喜こんだりされておられたお姿が思い出されます。

又先生はスポーツがお好きで、本校に女子バレー部が誕生してからは陸の顧問として選手を励まされたり、相談相手としてなごさめられたりなさるなど、女性ならではの心配りで生徒からも厚い信頼を受けておられました。ご退職後も合宿などちょこちょこお顔を出されたものでした。

市原先生は昭和22年から昭和62年まで実に40年という長きに亘り本校繊維工業科に勤務されました。ご在職中からご健康にはあまり恵まれないお方で苦勞されながらのお勤めでした。特に退職前はご衰弱がひどいにもかかわらず、ご気丈な精神力で教壇に立ち続けられたお姿はご立派という以外にありませんでした。

定年を一年余してのご勇退で療養にご専念されておりましたが、ご養生の甲斐もなくお亡くなりになりました。61才でした。先生は「ひよこ」の愛称で多くの卒業生から親しまれておられました。その名の通り大変やさしい性格で生徒も「やさしい先生」として慕っておりました。先生は写真や絵画にご堪能で、ご在職中からよく京都や奈良方面に撮影やスケッチに出かけられておりました。

職員室の壁に飾られた一枚の油絵が先生のお元氣な当時に忍ばせています。謹しんで両先生のご冥福をお祈りいたします。

(増成 徹郎)

編集 中記

白水会報は、会と会員、会員相互そして母校と会員をつなぐ役割をもつ。しかも、親しみやすく、視覚的

計 報

長野 蘭蔵氏 (C4)

元大阪白水会会長、元泉峯会会長として会の発展に大変骨折りを戴いた長野氏には、昭和63年10月21日逝去されました。享年78才でした。謹んで哀悼の意を表し、御冥福をお祈り申し上げます。

な紙面構成で。しかし、今号は敗政的理由から広告を増やし、減ページしたので意を十分伝えられなかった。次号では工夫してみたいと考える。

(六)

綿及混紡メリヤスニット
生地・製品染色加工仕上
(創業50年)



株式会社 黒川 染 工 場

代表取締役 黒川 忠 司 (D32卒)

工場 〒534 大阪市都島区東野田5丁目11番24号

TEL. (06) 924-3358

FAX (06) 924-3520

倉庫 〒536 大阪市城東区野江1丁目2番11号

●関連会社 大黒工業(株)
(株)ティケイテック

H E C
水溶性高分子ヒドロキシエチルセルローズ
国内唯一のH E C製造メーカー

フジケミカル株式会社

代表取締役 宮崎 精一 (D16卒)
社員 吉田 圭三 (A54卒)

三浦 高行 (A55卒)

大崎 利華 (D60卒)

鉄池 英一 (A61卒)

松田 剛一 (A61卒)

中義 行 (A62卒)

浜田 康人 (A63卒)

山下 新二 (A63卒)

伊丹市東有岡1-91 TEL 0727-82-4793

旋盤・フライス・溶接加工

有限会社 シマ 精 機

代表者 志磨村 和雄 (M40卒)

〒663 西宮市上田西町3-27

TEL (0798) 46-0686

FAX (0798) 41-3669

紫電会発足する

電気科同窓会の発足総会が昭和63年7月23日(土)午後2時より母校の会議室で開かれました。当日は小雨の中、電気科同窓生41名が参加され、さらに大阪白水会々々長、学校長、教頭、電気科旧職員6名、現職員13名も参加され合計63名の盛大な発足会となりました。

総会は河合先生の司会で始まり、白水会々々長上野氏、学校長前田先生、電気科長森先生の挨拶の後、議長に福永哲哉氏(41年卒)を選出し議事に入りました。

議事はまず同窓会の名称と会則案の審議がなされ、会の名称は「紫電会」とし、会則は原案通り承認されました。続いて会則に従って役員選出を行い次のように選出されました。

会長 河端 保氏 41卒
副会長 森本哲行氏 42卒
監査 溝口三三三氏 43卒
「」 山地盛一氏 48卒
「」 上妻啓二氏 52卒
会計 椎名隆二先生
常任理事 河合慎登先生
「」 金子清治先生
「」 椎名隆二先生

この後、懇親会に移りました。懇親会では電気科旧職員の北村先生、寺北先

生、川上先生よりお祝いのスピーチをいただき、熱気につつまれ大変な盛り上がりとなりました。午後5時30分、この日発足した紫電会の今後の発展を祈念して岡内教頭先生の発声で万才三唱をし無事閉会しました。これにより遅れ馳せながら電気科同窓会「紫電会」が正式に発足しました。これから河端会長を中心とした新役員によって紫電会が発展していくわけですが、会員の皆様には今後より一層ご協力下さいますようお願いいたします。



タオル/手拭/ゆかた/別染

100年以上の企業として
大阪商工会議所より顕彰の店

(株) 松 利

松田 利三 (D7年)

〒542 大阪市中央区東心斎橋2-5-25
TEL (06) 211-2304・8482

和装品



竹内 照明 (D20年)

大阪市中央区心斎橋筋2-3-25
TEL (06) 211-1816
FAX (06) 211-8747

上下水処理機械
設計・製作・施工



間機設工業株式会社

間 文 彦 (M37年)

〒555 大阪市西淀川区御幣島5丁目11-22
TEL (06) 471-5767番
FAX (06) 471-5311番



— 不動産全般 —

大成ハウジング

代表者 笠嶋 康隆

〒545 大阪市阿倍野区阪南町1-28-7
TEL (06) 624-3338
FAX (06) 624-3687

第三十九回

白水会東京支部 総会

今年には梅雨の走りのような小雨が降りつづいていましたが、この日は久しぶりに青空がのぞきました。

5月26日午後6時、母校から前田中学校長、上野白水会会長、横山前白水会長、織維工業科増成先生、六辻常任理事長を迎えて、九段会館で開宴しました。

福島幹事の開会の辞に続いて、本多支部長のあいさつ、益々盛況の一途をたどる支部の現況を報告、遠来の本部関係者に謝辞を捧げました。

次に白水会長上野、横山両氏のごあいさつのもと、前田中学校校長の近況報告がありました。つづいて玉田幹事の会計報告を異議なく承認し、磯先輩による乾杯に喝をいやしました。ようやく会場は談論風発するうち恒例の福引がはじまりました。思ひのほか豪華な景品にあたるもあり、意外の品を手に入れるもあり、宴たけなわのうちに、新旧校歌斉唱、日笠幹事の記念撮影のあと、宇佐美幹事の閉会の辞で幕をとする。

なお昨年急逝されました高浜幹事の令夫人が、故人の代理として出席されました。

た。遺児たちを護り会社の業績も好調のよし、なによりその事と存じます。

それにしても東京白水会の集まりは世代を越え、科別を越え、かくも楽しいのでしようか？今年にはD63卒の新人J.S.I.F.の藤村君をはじめ、多くの転勤によるかえり新参の方を迎え、益々盛況の様相を呈しました。

なおいづみ編集長として活躍されていきました大曲幹事が大阪へ転勤になりました。大変長らくご苦勞様でした。

山口先輩とその令夫人による日本舞踊も好評でした。(日笠幹事)

D17会(ダイナ会)

昭和17年12月色染科卒業生のクラス会、ダイナ会総会を昨年9月3日、東天閣にて開催。当日は、家森長治郎先生(現武庫川女子大学講師)、西出宗生先生(現大阪樟蔭女子大学教授)のご臨席をいただき、卒業後はじめての再会の者もあり、ありし日のいろいろな思い出に花がさき、いつべんに時が過ぎ、楽しいひとときを皆でわちあいました。

一九応会

昭和一二年四月に応用化学科に入学の四〇名(當時)が、二学年のときに結成したクラス会を卒業時(昭和一六年二月)に、一九応会(応用化学科一九期生)に改称、卒業後の同窓会としました。

昭和一六年一月卒業後、二・三回の集り(計一回)があったが、戦争の激化で中断、戦後二年頃より会合を復活し現在に至っております。

卒業五〇年近くも続いている要因は、入学時より二年まで、二年間のクラス担任の垣内先生(当時地歴の先生)が毎年一回の欠席もなくクラス会に出席して頂いており、集いの中心となっているからだと同感謝しております。

三年前から年一回の総会以外に春、夏、秋にハイキングもやっております。

本年垣内先生が喜寿を迎えることになりましたので、クラス一同が寄金し、有志が参加して二月二三日・二月二五日に喜寿祝として道後温泉・瀬戸大橋の旅行にご招待しました。(世話人 大森春樹)



泉工柔心会 去る3月26日(日)に、恒例の「大正」柔道大会が行なわれ、本校柔道部とOB会の泉工柔心会が参加しました。今回の大会は、団体戦がなく個人戦だけでしたが、初段、二段とも上位独占することができました。その後、新会員の歓迎会を開き、約半数の22名の会員が参加し、楽しい一時を過ごしました。写真は、その時のものです。次回は、現役の夏合宿時(7月22・23日前後の予定)に行ないますので会員の皆様、宜しくお願いたします。(会長 中谷勇人 E54)

クリーニングのことなら何でもご相談下さい。

*白 クロス
*ク ロス

レンタルも致しております。

総合クリーニング商社
有限会社 九条ランドリー

取締役社長 吉本 恒夫 (D34卒)

本社工場 大阪市西区本田4丁目3番13号

TEL (06) 582-0246 (代)



会員だより

母校に寄せられた会員の方々の近況をお知らせいたします。会費納入、住所変更などの機会にどしどしお便りをお送り下さい。

PS、バレー部もがんばれ。

S12 山村 英夫
昭和57年に末娘が、結婚以来家内と二人きりの生活が続いています。お陰で二人共健康で何よりと思っています。

S13 金田 毅
(一色)

白水会報を読んで同級生の名前が殆んど出て来ないので淋しい思いをいたしました。卒業後戦争をはさんで、みんな数奇の人生を送って来たのでしょうか。小生も残り少ない余生をせいで一生を過ごすつもりです。

S17 吉田 保

随分御無沙汰致しました。紡毛紡績四十有余年の生活も夢になるか、愈々年金生活に突入します。これを機会に白水会発展の一助に会費を納めます。

S35 龍美 昭雄

現在繊維関係(ニット染色加工)で頑張っ居ります。大阪白水会報の「繊維工業科だより」にて繊維産業の改編の危惧を感じましたが、絶対大丈夫です。フアイトを出して下さい。

して将棋、民謡、卓球、ジョギングと忙しい日々です。
D34 藤下 謙
会報発行、運営御苦労様です。毎夏会報の来るのを楽しみにしています。
市内にいながら大正方面に足をはこびませんで、母校の様子を知る唯一の手段です。

C10 安部 毅

信貴山東側の深い山峡や周辺をワーキング、森林園の新鮮な野菜を取り入れる等、弱い身体体力保持に努めております。白水会員皆様のお元気な様子を拝見し、また次の年にどのような経過があるかと楽しみにしています。

C12 片岡 長正

昭和60年創刊のC12クラス会誌、この5月で累計二三八頁に達しました。

昨年9月「みのお山荘」で一泊のクラス会開催、出席者13名の中3名はD12からでした。

C16 長谷川恒治

昭和16年3月卒業晴れて社会人となり胸張って希望に満ちた門出。すべてを終り平穩に晴耕雨読。母校の益々の発展を祈る。

C17 広居 英武

少しばかりくたびれても、まだまだ元気な連中

三年に一回位会えるのが嬉しいのですが、会費納入欄に名前がないのは淋しいです。僅かな会費と言わんでくれ、僅かなら納めてもらって生きている証しを伝えてくれ給え。

C18 伊勢 清秀

今だ現役で頑張っ居ります。老化を防ぐため、ワイプロ、パソコンには挑戦しており、もちろんゴルフも下手の横好きで続けております。

C40 西田 繁雄

脱サラで神主をして頑張っ居ります。
A大正13 菊川 康雄
日々是好日、幹事の方々の苦勞お察し申し上げます。

A9 松井 清暁

72才になりましたが健康に恵まれ現役(会長)として毎日出社しております。

A18・12 北田 章

昭和61年7月より大阪府赤十字血液センター所長。

A20 宇佐美昭司

南宇佐美経営事務所代表として中小企業を中心として企業診断、企業教育指導分野に事業分野を広げております。
A29 浜口 憲弘
55才があと2年足らずに

— 母校の発展を祈ります —

ドライクリーニング 美吉野

代表者 森 脇 勲 (A31卒)
大阪市港区市岡1丁目1の6 TEL 572-3637

フレッシュクリーニング ヤマト

代表者 朱 矢 豊 茂 (D34卒)
大阪市港区市岡2丁目1番31号 TEL 571-2291

HONDA SHOP ヤマト

代表者 朱 矢 義 彦 (D37卒)
大阪市港区市岡1丁目8番13号 TEL 574-8169

内田電装サービス

内田 博 之 (S68卒)
大阪市港区港晴3丁目6の14 TEL 573-7088

染料・顔料・工業薬品

平岡染料店

平岡 利隆 (D31卒)

〒543 大阪市天王寺区国分町18-11

TEL (06) 771-7426

FAX (06) 779-7794

なりましたが、あとのことより、これまでやってこれたことに感謝しつつ有意義にこれからも過ごしたいものだと念じている今頃です。

A31 津田 義貞

東大阪市にて南鴻池塗装を経営しております。古賀先生お元気ですか。

A44 北垣内 公士

仕事に子育てに悪戦苦闘しています。44年の連中は元気ですか。同窓会したい

私と 大阪白水会

D16 本多 実

青春とは人生の或る期間を云うのでは無く心の様相を云うのであって、優れた創造力、逞しき意志、炎の情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒險心、こう云う様相を青春と云うので、年を重ねただけでは人は老いない。理想を失う時に初めて老いが来る。

歳月は皮膚のしわを増すが情熱を失う時精神はしぼむ。と米田アラバマ州バーミンガムに住む故サミュエルウルマンはこう説いています。

ですね。

M18 清水

62才となりましたが、健康に日々を過ごしております。毎日多忙にて全国各地出張（健康産業の一員として）しております。

M20 青木 昭二

同窓各位のご健在をおよろこび申し上げます。

私、戦時体制下の昭和15年に入学、18年泉工生のトップを切って、13期甲飛子科練志願、生き長らえ現在

白水会東京支部の人達を見て居ると実に屈託無く明るい、若い人も大先輩も声に張りがあり何所か違う。

心に青春を持ち続けて居られる人達が多いからなのだと思います。若い時同じ校門をくぐったと云うだけで歳の差を感じず、会えるのを楽しみに白水会へ馳せ参じます。

この時一人々々が泉工時代のタイムカプセルを開き、感慨を若き日の一駒に合わせ、想い浮かべて和気藹々として時の経つのを忘れて語り合える。

正に心に青春を持ち続けて社会に立ち向い、生活をエンジョイすれば白水会は益々発展出来るものと信じる一人であります。

（本多実工機代表取締役）

元気です。

泉工の発展を祈ります。

M26 溝渕 初男

昭和63年より転職しました。関西ゴルフ会議員権取引業協同組合の事務局長として勤務しております。

M34 西山 瑞彦

日本転写紙KKは創立35周年を迎え、これを機に昨年6月1日より、エヌティー代目と成り若がえりました。社長も3代目と成り若がえりました。小生も27年目（在社）

A20・3 藤原昭三

昭和一九年九月泉工五年生のとき海軍甲飛練生として美保航空隊に入隊、昭和二〇年九月大阪の薩摩へ復員後、恩師玉嶋先生のお世話で八千代ゴム工業（株）、中山太陽堂等で、働きながら夜学（専門学校・大学）生活を経験し、その後、経営顧問、大阪商業大学非常勤講師、大阪府立産業能率研究所嘱託等を経て、昭和三六年四月大阪商大に専任教員（経営学）として奉職し、今日に至っている。

此の間、枚方市公害対策審議会委員長を始め、大阪府、寝屋川市等の各種審議会の委員長等を引き受け、大阪府環境功労者、枚方市・寝屋川市等の市政功労者としての表彰を受ける等、

となりましたが、もう一踏ん張り、頑張ります。

M40 志磨村和雄

22年ぶりに学校へ来ました。全然昔の面影がないので、びっくりしました。

先生方もお変わりなく、元気なお顔を見ることが出来ました。気持ちのよい時間を過ごしました。

応用化学の出身者の世界とは大きく隔たった世界で生活してきたため、泉工、白水会に対して、余り、密接な心のつながりを感じていなかった。

しかし、不思議なことに、同級生の名簿を作成し、母校に持参したとき、我々の時代の建物、先生、生徒、周辺環境とは全く変わっていったにもかかわらず、私の心の中に、突然、ふるさと、にも似た、なつかしさ、と、安らぎ、が湧いてくるのを禁じ得なかった。

泉工はやはり、私にとって、かけがえのない母校であつたし、白水会は、こんな感動をもてる人の集いであつたということを痛感させられた次第である。

激動の日々を送りし我が母校 永久に栄えあれ 微力つくさむ 合掌

* 商 品 写 真
* 学 校 ア ル バ ム

* 航 空 写 真
* 婚 礼 ・ 見 合

あらゆる証明写真も早く きれいな仕上り！

友仁堂写真館

国際社会人剣道日本クラブ会員
白水剣友会会長

山畑 阿威磨 (昭和33年A科卒)

〒579 東大阪市瓢箪山町7-2 (近鉄奈良線瓢箪山駅下車)

TEL (0729) 81-2765 FAX (0729) 84-8837

昭和63年度

会費・寄付納入一覧

(敬称略)

●紡織科・繊維工業科

二、〇〇〇円	12 林 利一(桑野)	12 山本美章	12 奥田久雄
4 布谷伊光	12 山田多市郎	12 多胡正治(戸田)	12 森 久須之助
一、〇〇〇円	12 松本吉亮	17 吉田 保	28 日笠一清(向井)
29 松本弘幸	13 金田毅(一色)	14 吉木茂太郎	14 幸田 勝
五、〇〇〇円	14 藤崎豊彦	14 幸田 勝	14 勝 秀一
7 加藤正義	10 三浦良貴	12 野田成男	12 小浦洋治
11 木下嘉平	28 小西一正	36 小浦洋治	37 芳武 豊
44 山崎峰子(太田)	四、〇〇〇円	8 尾崎一郎	三、〇〇〇円
6 森田 博	8 藤條正夫	16 桂川御一郎	22 佐々木良二
36 西山謙夫	38 久保田勇之助	38 兼本武紀(宮城)	38 堀 雄二
48 松崎伸枝	二、〇〇〇円	13 磯田修司	15 高橋誠一郎
18 藤川一市	31 矢部俊司	36 木村捷利	38 出口孝雄
37 柳本健治	57 勇田洋伸	一、〇〇〇円	3 上中 隆
7 岡本龜吉	4 飯田年春	7 神田 茂	8 宮内義政
9 和田太郎	9 松井宏臣	9 遠藤喜三郎	12 山村英夫
10 由井昌雄	12 山村英夫	49 佐々木久美子(宮)	

●色染科・色染工業科

一、〇〇〇円	20 北嶋 豊	34 吉本恒夫	45 谷川サツキ(永井)
五、〇〇〇円	13 鎌田修一	13 長谷川正裕	21 中川好生
32 瀧本廣之	34 瀧谷文夫	34 山本一己	38 田丸浩三
12 中川市造	16 高島清輝	17 吉浦 稔	17 岡崎弘男
21 村田嘉三	33 西岡春樹	38 西川忠利	41 金津佳光
二、〇〇〇円	8 岩倉晴美	12 田中義人	17 松田家男
12 島瀬 修	29 岸岡曉	35 野崎和男	38 藤田充彦
41 尾止樹	42 田代文代	43 増成しげ子(西原)	43 太田千春(竹内)
45 貴田広志	45 田中順子(加藤)	46 井上真知子(北嶋)	46 白井美智代(加藤)
47 浜田久子(加藤)	50 阪本太代(国方)	50 畑山初子(幸地)	50 板垣恭子(中井)
一、〇〇〇円	2 小川次助	3 石村芳郎	4 奥川敏郎
5 石田帝介	5 上羽恒彦	5 村田要人	6 森田兵太郎
7 柴田惇志	8 石田正利	9 安田育雄	9 上田俊彌(武田)
10 栗田重見	10 北嶋 豊	11 天野嘉信	11 西明得治
11 福永義一	11 森 信也	12 加藤武之助	12 加藤春雄
12 長井静也	13 小橋圭一	13 中務昌治	13 西川 肇
13 西川 肇	14 内田信一	16 奥村耕造	16 福嶋節生
16 岡村 博	16 柴谷吉宣	16 小川嘉海	16 村田寿太郎
17 神林 寛	18 山岡 清	20 柴田和男	20 池田和夫
20 近藤 和	20 市川景一	20 鈴木寛治	20 野村光治
20 濱本浪雄	20 藤本順三	28 村田忠夫	30 福森文夫
29 高合史郎	30 小川 治(織田)	32 加藤照彦	32 本間 靖
34 大村 実	34 永岡正恵	35 吉村省太郎	36 中元勝巳
36 中元勝巳	38 十川征洋	42 西羅喜代志	42 加藤裕子(高倉)
43 根津 進	44 阪田政夫	43 高野加代子(浜口)	43 安積由紀子(福島)
44 安積由紀子(福島)	47 合志正美(玉木)	48 近藤治江(久宮)	49 沖元英一
50 中村幸恵(石坂)	50 吉田奈保子(伊藤)	50 村上満美(永井)	50 友井千佐子(橋口)
50 友井千佐子(橋口)	52 藤沢智恵子(仲田)		

プラザ オーサカ
洒落た高級すし店すし 異
YOU

専務取締役 田中 豊三 (S38才)

〒532 大阪市淀川区新北野1-9-15

ホテル・プラザオーサカ1F

TEL (06) 304-2225 (直通)

車輛塗料・建築塗料専門メーカー

ISAMU

イサム塗料株式会社

代表取締役社長 清水 博司

(A17才)

東京・大阪・名古屋・滋賀・九州・仙台・広島・高松・鹿児島

53 邑智信恵(宇佐見)	12 簡見伊三夫	12 片岡長正	5、〇〇〇円	32 尾崎誠悟	32 西本征雄
54 柴田佐登美(島)	12 勝屋一志男	12 美	16・12 合田富美雄	34 中崎紀夫	35 金澤 稔
56 後藤浩子	12 辻 芳次	13 大石 進	18・12 宇賀節雄	55 多川碩一	35 田中俊一
57 熊野清美(岩佐)	14 上田猛雄	14 高橋嘉三郎	26 中村順一	35 寺田義彰	35 戸田勝裕
59 井口美砂子(豊水)	15 中村悦一	15 岡崎之男	35 一階栄一	36 名小路昌輝	37 阪上陽三
● 窯業科	15 岡田 浩	15 後藤三雄(矢部)	三、〇〇〇円	37 寺田友一	38 奥野真生
一〇、〇〇〇円	15 竹内敬次郎	16 家村 敏	3 坂野徳祐	40 池田隆司	40 池田 宏
6 田村信三(近藤)	16 北村義治(柴田)	16 岩村 子夫	12 大都城是雄	40 鈴木弘幸	40 西尾憲一
8 布谷 功	16 岩村 一郎	16 小松中子夫	12 研田秀三郎	43 箱田 稔	43 池田 実
12 横井善一	16 佐藤菊松	16 曾田吾吉	31 若松邦彦	43 大沢 準	44 北垣内廣士
五、〇〇〇円	16 長谷川恒治	16 浜口隆信	37 宇都宮正則	60 小北進治	63 岩田幸二郎
4 長野蘭藏	17 大田利勝	17 古武正幸	44 前田清孝	63 江口正勝	
17 安田 圭	17 田中 健	17 治良政幸	二、〇〇〇円	● 化学機械科・機械科	
34 阿部五郎	17 中村勇(奥野)	18 井上久彦	8 川寄太郎	一〇、〇〇〇円	
三、〇〇〇円	17 三宅弘一	20 井原 敏	10 藤盛道夫	33 角岡貞治	35 黒澤三八
3 柳井二郎	18 三宅弘一	20 楠田博之	16・12 北村 定	18 北山良治	
6 玉川英夫	20 木曾敏夫	20 伊作 伊作	29 浜口憲弘	25 上野 勇	31 原田 弘
10 玉井彌一	20 高下健吉	21 而川弘三	一、〇〇〇円	34 稲田隆幸	37 上久 勝
15 合田 浩	20 千葉寿一郎	30 小浦清治	大13 菊川康雄	37 道上隆敏	45 澤 昭二
18 伊勢清秀	25 長尾石廣	30 綿西好高	3 田畑新吾	46 金城幸貞	46 河城 淳
33 近藤恒夫	30 橋本隆治	31 坂井 彰	7 家次勇夫	三、〇〇〇円	
二、〇〇〇円	31 浦山弘治	32 曾根 朝	8 大島得男	18 清水 司	21 松家信人
4 徳本 操	31 重岡敏之	33 河本 勝	8 戸川政美	24 藤本正治	26 岡部浩也
14 飯野 敏	33 飯野信夫	33 西村幸雄	11 秋田信一	29 小野良夫	32 和田通雄
16 前川善昭	33 塚野善彦	34 阿安素博	11 高橋保夫	34 三好正義	37 市場邦男
23 吉原一夫	34 妹尾 修	35 滝川泰三	11 瀬川栄一郎	37 前川金四郎	39 岡本欣三
29 久保光輝	35 今井 寿	35 山口武司	13 水原陸男	40 安井博司	43 山本真資
35 佐賀木康邦	35 西尾哲夫	37 益山 治	14 中原清治	46 小段 勇	47 林三千男
40 福盛茂記	36 中村正嗣	39 藤本喜久男	15 熊西清信	二、〇〇〇円	
47 山下秀雄	38 木下博詮	40 岩本 貢	15 東野三郎	33 藤原 剛	34 網野雅文
一、〇〇〇円	39 山内正彦	40 三田康彦	16 渡壁義美	34 西山瑞彦	35 村山洋一
3 小林豊太郎	40 木地清司	40 岩本 貢	16・12 岡 正十三	36 藤田義治	37 永尾 卓
3 佐坂光春	40 西田繁雄(中野)	43 高野和行	16・12 鈴木市松	38 余野木隆志	40 三宅孝史
6 植木克祐	40 西村良朗	60 松田幸治	17 橋本 博	41 横田 豊	41 斉藤昌彦
6 松井健三	44 小川潤一郎		18・12 岡本廣高	40 横田 豊	42 山田登志雄
8 小川辰雄	一〇、〇〇〇円		18・12 北田 章	50 橋本 猛	61 圓山 猛
9 森分重信	● 工業化学科		21 和多田 清	一、〇〇〇円	
10 安部 毅	一〇、〇〇〇円		28 桑田 進	20 正月義春	20 真砂良一
10 竹川利夫	7 山下辰雄	9 松井清眺	28 福村吉晃	20 青木昭二	21 森 要
11 藤懸永明	16・12 上野俊雄		28 丸山信次	25 西川義人	25 諸山 宏
11 横山 正	20 宇佐美昭司		31 頼金利昌	26 中川俊和	26 松岡 宏

新築、造改築の御相談は是非

市岡建設(株)へ

市岡建設株式会社

代表取締役 角岡 貞治 (M33卒)

大阪市大正区小林西1丁目8番21号

(串田病院西裏通り)

TEL (06) 554-1621(代)

FAX (06) 554-1625

カタログ・印刷全般

文具・事務用品・印鑑

日南印刷株式会社

森 本 正 彦 (D52卒)

〒556 大阪市浪速区立葉1-4-14

TEL (06) 562-3894(代)

FAX (06) 567-3108

56 田中雅史 57 堀勝典
 58 篠原孝史 59 坂口雅彦
 ●科・卒年不明
 一、〇〇〇円
 有村司郎 前原 均
 小島由美子
 ●寄付
 四二、〇〇〇円
 S 35 卒業生一同
 三〇、〇〇〇円
 A 16 応志会有志
 六、〇〇〇円
 D 47 卒同窓会参加者一同
 ・七月十五日總會時寄付金
 一五、〇〇〇円
 前田昌男校長 岡内繁教頭
 濱村惠庸事務長
 63 年度広告協力会社名
 三〇、〇〇〇円
 頼佐野毛晒工場
 一〇、〇〇〇円
 カツミ産業 S 32 檜尾俊明
 大勝水産 S 38 田中豊三
 ろーてーしよん
 D 28 田阪雅計
 頼松利 D 7 松田利三
 フジケミカル 頼
 D 16 宮崎精一
 北嶋染工 頼 D 20 北嶋 豊
 泉化成品 頼 D 32 瀧本廣之
 頼黒川染工場
 D 32 黒川忠司
 ヤマト D 34 朱矢豊茂
 D 37 朱矢義彦
 トム・ソーヤ D 37 中村久住
 金剛ダイス工業 頼
 D 41 三木 雄
 やまがそば C 33 本
 頼オノエ家具

FAX (0734) 89-4 3 3 8

南口商機城 M47姫野康通
植田製油株式会社

お願い 63年度の会費納入が、62年度に比べ約九万円増加し、会報への賛助広告が九件増えております。これは昨年の訴えに対する会員各位の積極的な対応によるものと思います。会費納入が年間予算の半分を越えることが必要かと思っております。本年も会費納入にご協力下さい。

尚、6月9日の理事会におきまして、年会費を千円に決めてから十数年たつたので、二千円に増額してはどうかとの意見もありました。皆様方のご意見を、おはせ下さい。

（開会前にサウナに入場される方は、サウナフロントで大阪白水会と申し出て下さい。料金は五〇〇円。）

- | | | | | |
|---|--------|------|------|-----|
| | | | 道頓堀川 | 心斎橋 |
| ニュージャパンビル | | | 道頓堀 | |
| 新館5F内
敦煌 →  | 相互タクシー | 御堂筋 | 松竹座 | |
| ステーキ ●
チャコール | 百五銀行 | | | |
| | | 千日前線 | | |
| | | | | 高島屋 |

ただし昭和63年、平成元年の卒業生は二、〇〇〇円
議事の時間を短縮しますので会費の決算、予算
等をお目通しおきます。